

感染が強いノロウイルスによる感染性
性胃腸炎とインフルエンザの集団
発生が相次いでいます。

ノロウイルスは、低温と乾燥に強
いため、まだまだ警戒を続けなければ
なりません。

ノロウイルスによる胃腸炎は、一、二
日の潜伏期間の後、激しい腹痛
や嘔吐、下痢などが二日ほど続き
ます。脱水症状になりやすく、お年寄
りや乳幼児は重症化することが多く、
今年も既に死者が出ています。

「ノロウイルスによる感染性胃腸炎」と
いう診断は聞かれますが、嘔吐や
下痢、胃腸炎で休んでいるお子さ
んが、お気づきの通り、全くノロスでポ
ツリポツリと出ています。

他のお子さんへの感染を防ぐために
発症したら重症化する前に、充
分に治るまで休ませてください。

インフルエンザも全国的に流行が始
まっています。
県内も流行期に入っており、近

小学校でも学級閉鎖が行われ
てると聞いています。

ノロウイルスもインフルエンザも予防
を徹底し、感染を防ぐなければ
なりません。

園では引き続き、手洗いやがい
室温、湿度の管理と換気を細目に
し、嘔吐については新潟市保育課
からマニュアル通りの徹底して実
施します。

ご家庭でも留意願ったのは次の
通りです。

1. 外から帰ったら石けんを洗ってください。
 2. 夜はできるだけ早く寝かせ、休ませると。
 3. 三食、バランスのとれたものを食べる。
 4. 暖房で空気の乾燥しすぎないように、適度な湿度を停々換気をする。
 5. 人混みを避ける。
6. 具合が悪い時は、早目に医師の診断を
受け、適切な治療を受ける。
7. 合併症を防ぐために、なおとも具合
が悪くなる時は無理な登園をしない。
また、幼少の子どもは熱発すりも下痢、嘔

吐のぶが「コブ」のような専門家も居られ
ます。

ノロウイルスは症状が治るのも一週間、
長場合は一か月もウイルスの排出が
続くことがありますので、感染源に
ならないよう十分ご注意ください。

心も体も元気が笑顔あふれる
「生徒展」を迎えられますように
よろしくお祈りします。

「生徒展」は今年が四目を迎
えます。この一年も色々な節目が
ありました。

松の実恒例めはあ答の月間
「三月」と迎える前に、この一年を
振り返り、ひとつでもふたつでもいい
成長の一節一節、育ちの喜びを
見付けておいてくださいと願っ
ています。前年の四月とは違った何
か「あじこ」の「嬉しいよ」「素敵
だね」と、改めて伝える準備を
整えた二ヶ月が間近です。

園長 福田孝子

H26. 2月